

第2回小児薬剤耐性菌（AMR）対策セミナー

概要

近年、薬剤耐性菌：Antimicrobial resistance: AMRの拡大は世界的な問題であり、抗菌薬適正使用は喫緊の課題である。本邦の抗菌薬処方9割は経口抗菌薬が占めており、その適正化は将来の子ども達に使用可能な抗菌薬を残すために非常に重要である。適正使用は、全診療科の医師、薬剤師、看護師、行政、保護者の理解といった複合的な取り組みが必要である。本セミナーでは、プライマリーケア（一次医療機関）、二次・三次医療機関、政府、各々の立場から今後行うべき対策について課題を明確にし、明日からの診療を変えるエッセンスを持ち帰り、地域で実践することを目的とする。

参加資格：第29回日本外来小児科学会学術集会の参加者

※本セミナーの事前登録制（午後）への参加は

小児抗菌薬適正使用加算の研修会として認められます。

日時：2019年9月1日（日） 9：00 - 15：30

午前は講義形式、午後は事前登録制のワークショップ形式で行う。

場所：福岡国際会議場 2F A-2-4

**SAVE antibiotics,
SAVE children**



その抗菌薬、本当に必要ですか？

申込み方法等詳細については、学会ホームページ

<http://www.sagpj29.co> をご参照ください。

主催：日本小児感染症学会 教育委員会

共催：日本外来小児科学会, AMR 臨床リファレンスセンター

後援：日本小児臨床薬理学会

事務局：日本小児感染症学会 小児 AMR セミナー 実行委員会